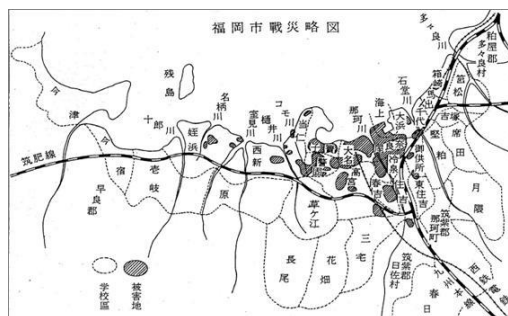


平和をかみしめる

今日6月19日は、福岡大空襲があった日です。昭和20年の今日、福岡市を中心に、空襲を受けました。そこで、太宰府西中学校では、毎年、色々な形でこの日に「平和学習」をしています。今年も、文化委員長の生徒が、朝の校内放送で、「平和」について放送をしました。

「平和って何ですか?」という質問に始まり、福岡大空襲の話や福岡市の詩人・門田照子さんの「なぜ、戦争をしているのか、空襲を受けるのか、子どもの私にはわからなかった」とのコメントを紹介しました。そして「私は中学生として、皆が毎日びくびくするような世の中にはしたくないと思います。平和という宝物を守りたいと思います。だからこそ、私たちの住む地域で、国内外で、戦争をめぐって何が起きたのか、しっかりと勉強していく必要があるのではないのでしょうか」と結びました。とても心に響く放送でした。全校の生徒が、この言葉をしっかりかみしめて聞いたことと思います。

今日も、太宰府西中学校は平和な一日でした。この「平和」な気持ちをいつでも感じることができるよう、まずは校内の平和を維持していきたいと思っています。



総務省HP【福岡市における戦災の状況】より